

# ケンワン・ディウエン (ケンワン)

トゥツァ・バプテスト教会協議会(TBCC)

インド・アルナーチャル プラデーシュ州、ティラプ県ノグナ村

民族 / 部族: トゥツァ・ナガ  
母語: トゥツァ語  
宗教: キリスト教  
職業: 福音・生計調整員



## 仕事について：

「私は人生において、努力して生計を立てることや労働に対する尊厳を重んじています。」

ディウエン・ケンワンはインドのノグナ村出身で、大学では神学学士を取得しました。彼は自分の村の人々のことを、気高く、決断力があり、正直だと言います。コミュニティには十分な教育制度がなく、それが大きな課題の一つとなっています。ケンワンは自らの性格を楽観的だと感じており、人々に奉仕することを大切にしています。現地を訪問したり、教会で分かち合ったり、教会員の家を訪問したりして、コミュニティと関わっています。

ケンワンはトゥツァ・バプテスト教会協議会に勤務し、豚の飼育やカルダモン、柿の栽培など、福音と生計のプログラムの調整を行っています。ノグナとリアンワンの35の村で柿のプランテーション研修事業を実施し、種まきや苗木の移植といった実践的な農法を指導し、コミュニティの自立を促しています。

ケンワンは、アジア学院で有機農業の知識と経営技術を身につけ、自分のコミュニティでもっと役に立つ存在になりたいと願っています。研修後は、送り出し団体と良好なパートナーシップを保ち、コミュニティの活動を向上させたいと考えています。

## 送り出し団体について：

トゥツァ・バプテスト教会協議会 (TBCC) は、主に福音を宣べ伝えるとともに、自立と自助に重点を置いた職業訓練プログラムを提供しています。主に、チャンラン県西部とティラプ県東部に住むチベット系ビルマ人のトゥツァ・コミュニティで活動しています。彼らは、ケンワンが帰国後、アジア学院で学んだ技術を活かして、コミュニティの経済的・社会的水準を向上させるために働くことを願っています。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら：

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)